

新しい北海道のシダ図鑑

北海道の野生植物の名前を調べるために図鑑を探すと、必ず梅沢俊さんの名前に出会うはずです。超人的な質と量で植物の写真図鑑をつくり続ける梅沢さんは自ら図鑑職人を名乗るほど。もちろん私もお世話になったクチで、学生の頃に買った図鑑『北海道の花』はいつも野外に持ち歩いてボロボロでした。

梅沢さんの図鑑が支持される理由はたくさんありますが、なかでも常に最新の科学的知見を取り込み、また使いやすい図鑑のあり方を模索し続ける貪欲さは群を抜いており、いつも驚かされます。もちろん今なおフィルムで撮影する、植物写真家としてのこだわりにも。

そんな梅沢さんの今年の驚きの新刊が『北海道のシダ入門図鑑』でした。これはコケやシダといった隠花植物から学び始めた私にとって、まさに待望の一冊でした。これまでに北海道でシダ植物を調べるには、北海道全域を扱ったものとして滝田謙讓さんの『北海道植物図譜』がありました。この図譜が出版されたのは2001年です。私がまだ学生の頃にはちょうど滝田さんはこの本を執筆中で、大学の標本庫や文献をよく利用されていたためお会いする機会もありました。

当時シダの勉強をはじめたばかりの私には平凡社から出版されていた『日本の野生植物』シリーズのシダ図鑑は難解なものでした。日本全国の全種を扱っている素晴らしい図鑑ですが、全種の写真は掲載されておらず、写真は接写が少ないこともあり、初学者が記載文を読み解くのはなかなか骨が折れました。日本シダの会の『日本のシダ植物図鑑』は分かりやすい線画が多数掲載されていましたが、北海道のシダは載っていないものも結構ありました。もちろん保育社の『原色日本羊歯植物図鑑』は歯が立ちません。

そのように苦しんでいるなか、なんと滝田さんの出版前の図譜の原稿を見せてもらうことができたのは幸運でした。そのコピーを山野にいつも持ち歩くことで、やっとシダを調べるコツがわかったのです。私が今でも人より少しシダに詳しいとしたら、この学生時代のフライングが効いているのだと思っています。

あれから10数年経って植物分類学が着実に進歩しても、この状況はさほど変わらず、道内全域を対象にして名前を調べるのに便利な図鑑は滝田さんの図譜をおいて他にありませんでした。道内各地域では海老澤巳好さんによる北見地方を中心とした『小さな羊歯たち』という素晴らしい図譜や、拙著『知床のシダ』、また佐藤利幸さんによる分布図集『北海道寒冷地(北・東部)のシダ植物』がありますが、やはり全道で使える、写真を多用した新しい時代の図鑑がずっと望まれていました。

いよいよ出版直前になって梅沢さんから誤字脱字の最終チェックを頼まれました。ところが送られてきた原稿はB5判と大型であることにまず驚きました。これは1種ごとに全体や接写など、名前を調べるのに必要な情報を余さず写真で表現するという意欲的なもので、梅沢さんのこれまでの本にない新しい試みでした。年齢70にして未だ手癖で仕事をするを良しとしないその姿勢はさすがとしか言いようがありません。

シダは難しいと嘆き節をよく耳にしますが、それはとっつき易い本が少ないことが大いに関係しています。この本の出版をきっかけにシダに親しんでみようという人が増え、魅力にとりつかれてさらに先へ、より素晴らしい図鑑が欲しい(つくりたい)という渇きが生じることを祈っています。(内田暁友)

発行 知床博物館協力会 2015.8.25
099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49
斜里町立知床博物館内
TEL: 0152-23-1256 FAX: 0152-23-1257
<http://shiretoko-ms.sakura.ne.jp/>